

大好きな街 応援します

金融円滑化への取組み

当金庫は、地域における金融円滑化を図ることを使命として、地域社会の発展に貢献しています。

中小企業・個人事業者および個人のお客さまに必要な資金を安定的に供給するため、「金融円滑化のための基本方針」と「金融円滑化管理規程」等を定めるなど、金融仲介機能の発揮に向けた態勢を敷いています。小口多数取引を貸出運営の原則とし、中小企業・個人事業者と地元住民の金融機関として、良質な資金を安定的に供給することが当金庫のもっとも重要な役割です。

また、経営課題の解決に向けた提案等のコンサルティング機能を発揮し、地域金融の円滑化に全力で取り組んでいます。

資金需要や貸出条件変更等の相談については、お客さまが直面している課題を十分に把握した上で、その解決に向けてきめ細かな対応をとっています。

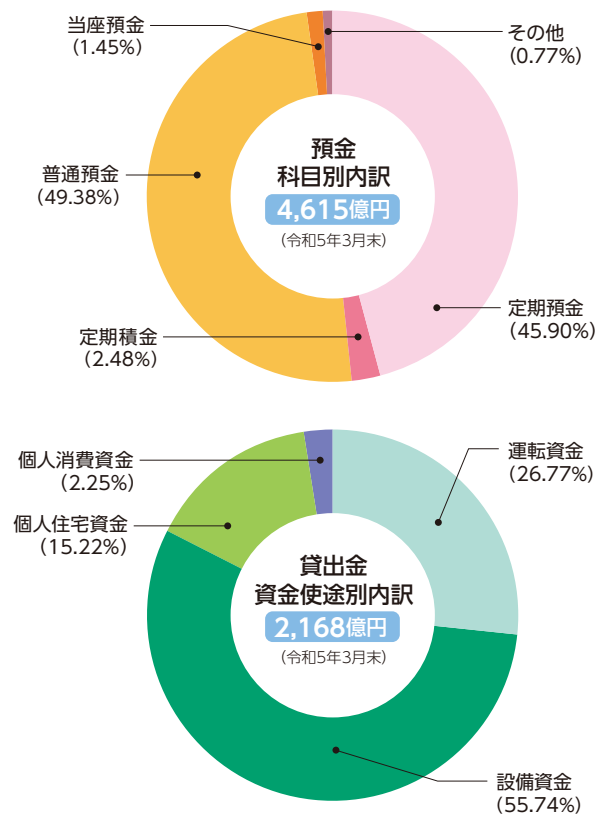
地域・お客さまの課題解決に向けて

当金庫は平成27年度に策定した長期経営戦略ビジョン「お客さまとのFace to Faceによるリレーションを強化し、身近な相談相手として寄り添える地域になくしてはならない金融機関を目指す」のもとで、令和3年度からの中期経営計画に全力で取り組んでいます。「お客さまの役に立つ」と「お客さまとの長期的な関係構築」の実現および「経営の持続可能性の向上」を戦略目標とし、当金庫本支店周辺地域のお客さまの課題を具体的に解決することを通じて、地域社会に貢献しています。

昭和信用金庫は設立以来、事業と暮らしの資金を安定的に供給し、地域金融の円滑化に努めることにより、信用金庫としての社会的役割を果たしています。

創業・新事業や事業の成長段階における支援をはじめ、経営改善、事業再生、事業承継および業種転換等の経営課題の解決に向けて取り組んでいます。また、個人のお客さまの生活向上など、各ライフステージにおいて提案、支援をしています。

さらに地域社会の一員として、イベントや行事をはじめ、さまざまな分野の活動に参画して地域との共存共栄を図っています。昭和信用金庫はこの「大好きな街」を応援しています。



創業・新事業支援への取組み

当金庫は、起業にチャレンジする方や新事業展開を計画する事業者への支援を積極的に行っています。

また、創業支援・ベンチャー企業支援・経営革新推進などの分野において外部機関との連携を一層強化し、きめ細かな支援に取り組んでいます。

- 令和4年度の創業・新事業支援融資の実行件数は50件、実行金額は3億34百万円となりました。

当金庫は、創業期の取引先を継続して支援するため、「しょうわ創業応援団」の活動に平成29年7月から取り組んでいます。毎月の定期訪問を通して事業の状況を適切に把握し、お客さまとの相互理解を深め、当金庫が“お客さまの一番の理解者・相談相手”として事業運営や経営に必要な適切な支援を行うものです。外部機関と連携したセミナーなどの情報提供や、当金庫が行うビジネスマッチング、食品事業者向け物産展への優先案内などを行っています。

- 当金庫は、新型コロナウイルスの影響を受け、新規事業に取り組む事業者を支援する「中小企業等事業再構築促進事業」の補助金申請にあたって、事業計画書の作成および申請を支援しています。認定経営革新等支援機関として当金庫は、令和4年度は計43件の申請支援を実施し、うち24件が採択されました。令和2年度からの採択累計は64件となります。
- 当金庫では、創業後間もない事業者がオフィスとしてご利用いただけるインキュベーション施設を設けています。「スタートアップしもきた」と「スタートアップえびす」の2施設を運営しており、19先の事業者にご利用いただいています（令和5年3月末現在）。



スタートアップしもきた



スタートアップえびす

各種セミナーの開催

終活セミナー

「エンディングノート」の書き方とこれから起きる可能性の高い医療・介護・相続問題等に関する予備知識を解説する終活セミナーを令和4年7月27日に開催しました。

講師にフコクしんらい生命保険から終活ライフケアプランナーを迎え、18人が参加しました。



経済産業省「4つの補助金」活用セミナー

業務効率化とインボイス制度への対応などに利用できる「IT導入補助金」をはじめとした、補助金の活用方法を説明するセミナーをオンラインで開催しました。

大塚商会の主催、当金庫の協力のもと、令和4年5月26日に開催しました。



事業再構築補助金採択事業者向けセミナー

当金庫とせたがや中小企業経営支援センターの共催で、令和4年7月21日に開催しました。

交付申請と実績報告手続きにおける必要書類と注意事項についての説明に、7社から10人が参加しました。



創業時の資金調達セミナー

創業希望者や創業して間もない方を対象とした資金調達セミナーを令和4年5月24日に開催しました。

融資の紹介だけでなく、創業融資の審査のポイントや事例などについて、金融機関の創業支援担当者が本音で話すトークライブ型のオンラインセミナーであり、多摩信用金庫、日本政策金融公庫と共催しました。



お客様の経営課題解決の支援

経営改善支援

当金庫は、取引先企業の業績向上、経営安定化および事業継続に寄与することを目的に、お客様の経営改善支援に取り組んでいます。

感染症の影響を受けた事業者の支援

当金庫では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、影響を受けた事業者の皆さまの資金繰り支援を行ってきました。令和4年度の感染症関連貸出は533件、金額は54億円になりました。令和2年度以降の累計は4,498件、金額は483億円となっています。

事業承継支援

経営者の高齢化や後継者不在、従業員の雇用維持等が課題になっている企業に各種支援を行っています。当金庫は、東京都の「地域金融機関による事業承継促進事業」活用の提案や、東京都事業承継・引継ぎ支援センターおよび信金キャピタル等と連携し、親族内承継、第三者承継（M&A含む）等の事業承継支援を行っています。



専門家派遣事業

当金庫は、東京商工会議所ビジネスサポートデスク、多摩・島しょ経営支援拠点、東京信用保証協会等の支援機関が運営する専門家派遣制度を活用し、売上拡大や販路開拓、経営改善など、中小企業・個人事業者のさまざまな経営課題の解決を支援しています。

「サポートプラザ」専門家相談会

毎月第1から第4水曜日に、サポートプラザで、専門家による相談会を開催しています。

第1水曜日「東京都よろず支援拠点出張相談会」

国が設置した中小企業等の経営相談所「東京都よろず支援拠点」と連携した相談会です。取引先企業の売上拡大、PR強化、IT化等さまざまな経営課題の解決を図るために、企業支援の経験豊富な同拠点の専門家・コーディネーターとのオンライン個別経営相談会を実施しています。

第2水曜日「税務・経営相談会」

当金庫とTKC*東京都心会が連携した相談会です。資産（贈与・相続）対策、事業承継対策、事業採算・資金繰りの改善など税務に関連する相談や経営課題について、専門家（税理士・公認会計士）が相談に応じています。サポートプラザまたはオンライン（ZOOM）で開催しています。

*TKC（TKC全国会）は全国で1万人以上の会員を有する税理士・公認会計士のネットワーク

第3水曜日「経営に関する弁護士相談会」

新型コロナウイルスの影響による業況の悪化を理由とした一方的な契約解除や報酬の減額などの契約・取引に関するトラブル、クレーム対策、損害賠償、事業再建および倒産など、法律に関わる経営課題を抱えている事業者に向けて、当金庫と東京三弁護士会*が連携し、無料相談会をサポートプラザまたはオンライン（ZOOM）にて開催しています。

*東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会

第4水曜日「人事・労務経営相談会」

各種助成金申請、テレワークなどの働き方の変化に対応した社内規定・評価制度の制定や見直しなど、事業者が直面する人事・労務の課題解決のための相談会です。当金庫は東京都社会保険労務士会世田谷支部と連携し、サポートプラザまたはオンライン（ZOOM）で無料相談会を開催しています。

取引先の従業員を支援

当金庫と取引先との間で「職域サポート契約書」を締結し、従業員の定着と生活の安定化に寄与する制度を平成28年4月から実施しています。同制度は、取引先の役員・従業員が融資商品の金利面の優遇や旅行で割引などが受けられる内容となっています。令和5年3月までの累計で、1,668先の取引先企業に導入されています。

しょうわビジネスクラブ

当金庫は、地域密着型金融への取組みの一環として、「しょうわビジネスクラブ」を令和1年12月に設立しました。会員が、異業種交流会・講演会・懇親会を通して、事業や経営情報の収集、相互の情報交換、ビジネスマッチングによる課題解決、人脈形成などを図り、地域全体の経済発展に貢献することを目的としています。

産学連携による地域の活性化

世田谷地域の活性化を図ることを目的に、当金庫は駒澤大学および昭和女子大学と平成25年に産学連携協定を締結しています。地元の企業が学生の発想を経営に活かす機会や学生がビジネスについて学ぶ機会を創出し、創業・中小企業支援、商店街の活性化、人材育成など、多岐にわたって地域の活性化に取り組んでいます。

第9回「TOKYO三ツ星バザール」を開催

新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまで中止となっていた「TOKYO三ツ星バザール」を、3年ぶりに開催しました。

令和4年11月9日、10日に行われた当金庫主催のバザールは、食品・非食品の事業者を中心に、都内の地域製品の発掘・PRを行う機会を提供するための物産展です。

第9回となる今回は40ブースが出展、来場者数は5,953人にのぼりました。また、フードドライブ*を実施しました。

これからも、皆さまのビジネスマッチング機会の創出をサポートしていきます。

*家庭で余っている未使用食品を持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体などに寄付する活動。



三ツ星バザール





お客さまとともに

コンサルティング業務の強化

当金庫は、お客さまの課題解決に対応できる知識・能力の向上、新たな発想ができる能力の醸成などにより、コンサルティング機能の向上に取り組んでいます。キャリアプランに基づく研修体系、自己啓発、OJTなどを通して職員を教育し、資格の取得を奨励しています。令和5年3月末時点で、中小企業診断士4名、FP技能士1級1名、同2級101名、同3級115名を擁し、お客さまのお役に立てるよう努めています。

各種専門業者の紹介

当金庫は、お客さまの課題解決を支援するため、専門業者を紹介する活動を行っています。不動産や相続についての複雑な手続きから、事業者の皆さまの人手不足などのご相談まで受け付けています。

新しい通帳の導入

当金庫では、お客さまの利便性向上のため、令和5年6月から新しい通帳を導入しています。新しい通帳は、スマートフォンやバッグの留具磁石などの磁気の影響を受けにくい通帳（Hi-Co通帳）となっています。

また、どなたにも視認しやすいユニバーサルデザインを採用しました（一部を除く）。

通帳の作成により排出したCO₂については、対応する排出権を購入することにより「カーボンオフセット*」を実現しています。

*削減努力をしても排出されてしまうCO₂について、排出量に見合った削減活動への投資などを通じて埋め合わせること。



「おかげさまで」90周年

昭和信用金庫は、令和4年12月17日に創立90周年を迎えました。当金庫の前身である「有限責任昭和信用組合」創立から今日に至るまで、「相互扶助」「共存共栄」の精神を受け継いでお客さまへの支援活動を行ってきました。これからも、地域や地域の皆さまとともに歩み、次の100周年に向けて、役職員一丸となって取り組んでいきます。

90周年を記念し、次の記念事業を行いました。

- 地域諸団体への寄贈

創立90周年の感謝の気持ちを伝えるため、電化製品・防災用品一式・ソーラー蓄電池などの備品を147団体に寄贈しました。

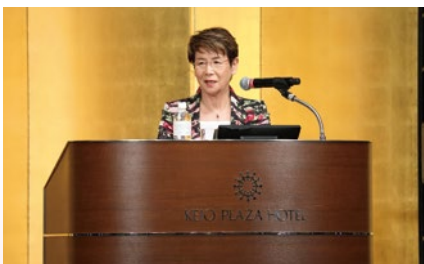


- 創立90周年記念「感謝の集い（坂本冬美特別公演）」（令和4年10月7日）



- 令和4年度業務報告会および創立90周年記念講演会（令和4年12月10日）

創立90周年記念講演会にはアーティストィックスイミングの元日本代表ヘッドコーチ・井村雅代氏を講師に迎え、京王プラザホテルで開催しました。



- 創立90周年記念企画「沖縄満喫3日間の旅」（令和5年2月21～24日）

首里城公園や美ら海水族館などをめぐり、2泊3日の沖縄旅行を実施しました。



- 創立90周年記念ファミリー企画「木下大サーカス 奇跡のホワイトライオン世界猛獣ショー」（令和5年3月12日）

お子さまと一緒に楽しんでいただけるファミリー企画を実施しました。

